

第55回沖縄地方交通審議会船員部会 議事録

日 時 平成25年4月26日（金）14時10分

場 所 沖縄総合事務局 1F 「共用会議室」

出 席 者

公益委員 儀部委員、春田委員

労働者委員 梅田委員、大崎委員、江川委員

使用者委員 山城委員、大城委員

事 務 局 沖縄総合事務局運輸部 : 玉城海事振興調整官

" 船舶船員課 : 島袋課長、宮良課長補佐、
徳田労政係

議事次第

○開 会

○議 題

1. 第54回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 意見交換

○閉 会

議事概要

事務局（徳田）

よろしいでしょうか、会議を始めさせていただきます。

本日は公益委員2名、労働者委員3名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることを御報告します。

島袋課長

今回、事務局職員に4月1日付で異動がありましたので、私のほうから紹介します。こちら、海事振興調整官の玉城、船舶船員課長補佐の宮良、労政係の徳田です。最後に私、船舶船員課長の島袋です。

委員の皆様の御協力を得て、部会の円滑な運営に努めていきたいと思いますので、ひとつよろしくお願いします。

事務局（徳田）

それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

(配付資料の確認)

よろしいでしょうか。

それでは、儀部部会長代理、よろしくお願いします。

儀部部会長代理

それでは、はじめに第54回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。お手元に配付されています議事録をご確認ください。

第54回船員部会議事録を原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

儀部部会長代理

異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」及び「平成24年度卒業者進路状況一覧表」について、事務局に説明をお願いします。

事務局（宮良）

それでは、「平成25年3月分の管内雇用状況等」及び「平成24年度卒業者進路状況一覧表」の概要について御説明いたします。

まず、「平成25年3月分の管内雇用状況等」の概要につきまして、資料に沿ってご説明します。

●求人状況について

新規求人数は8件でした。

前月は4件でしたので、4件の増加、また、前年同月は12件でしたので、4件の減少となっております。

月間有効求人数は15件でした。

前月は7件でしたので、8件の増加、また、前年同月は16件でしたので、1件の減少となっております。

月間有効求人数15件の内訳としましては、商船等8件、漁船7件となっております。

月末未済求人数は6件でした。

●求職状況について

新規求職者数は20名でした。

前月、前年同月ともに11名でしたので、9名の増加となっております。

新規求職者20名の内訳としましては、商船等12名、漁船8名となっております。

月間有効求職数は44名でした。

前月は33名でしたので11名の増加、また、前年同月は31名でしたので13名の増加となっております。

月間有効求職数44名の内訳としましては、商船等34名、漁船10名となっております。

月末未済求職数は26名でした。

●成立状況について

求人側から見た成立としまして、3月は管内で7件の採用が決まりました。

成立状況としましては、近海の漁業調査船に甲板員として30代男性2名、機関員として20代男性1名、30代男性1名、司厨員として20代男性1名、計5名が採用されました。

また、第3種甲区の実習船に甲板員として20代男性1名、30代男性1名、40代男性1名、機関員として20代男性1名、40代男性1名、計5名が採用されました。

●求人倍率について

3月の月間有効求人倍率は0.34倍でした。

前月は0.21倍でしたので0.13ポイントの増加、また、前年同月は0.52倍でしたので0.18ポイントの減少となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

3月の新規求職者20名のうち、離職者の退職理由としましては、船舶所有者都合1名、定年退職2名、雇用期間満了2名、自己都合4名、健康上の理由1名、以上、管内管外合わせて10名となっております。

現在勤務中の方の求職理由としましては、海上勤務中で転職希望1名、新規学卒者1名、その他8名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地については管内が11名、管外が9名となっています。

●失業等給付支給内訳について

基本手当の初回受給者は2名でした。

受給者実人員は11名、支給延べ件数は12件で、基本手当支給金額は1,518,102円でした。その他、再就職手当が267,085円、高年齢求職者給付金が290,850円ありまして、総支給額は2,076,037円でした。

引き続き「平成24年度卒業者進路状況一覧表」についてご説明します。

本一覧表は、各校の進路指導関係担当者からの調査報告に基づき作成しております。

初めに沖縄水産高校についてご説明いたします。

沖縄水産高校には、本科と専攻科があります。本科は3年コースで、そこを卒業した生徒が専攻科に進みます。表に記載する入学者数は、平成25年3月の卒業生の入学時の入学者数です。

表の中段の本科からご説明いたします。本科である海洋技術科・総合学科には、50名入学し、卒業生は46名でした。

表の上段の専攻科については、漁業科8名、機関科9名、無線通信科11名、計28名入学し、卒業生は漁業科6名、機関科9名、無線通信科10名、計25名となっています。

海上関係への就職者は、専攻科・本科合わせて、県内7名、県外21名となっております。

県内の内訳につきましては、沖縄県警1名、東亜運輸(株)1名、(株)那覇タグサービス1名、大東海運(株)1名、沖縄水産高等学校1名、海上保安庁11管区1名、琉球海運(株)1名となっています。

県外の内訳につきましては、東栄リーファーライン(株)1名、葉山船舶(株)1名、共同船舶(株)1名、JXシッピング1名、新和内航海運(株)1名、ヤマグチマリーン(株)1名、大阪旭海運(株)1名、鶴丸海運(株)2名、日水マリン工業(株)1名、鹿児島荷役海陸運輸(株)1名、JX日鉱日石カンター(株)1名、南海フェリー(株)2名、如月汽船(株)1名、(有)佐賀勝丸1名、山田水産(株)3名、水産大学校練習船1名、鹿児島大学水産学部附属練習船1名となっています。

続きまして、宮古総合実業高校についてご説明いたします。

海洋学科には24名入学し、卒業生は18名でした。

海上関係への就職者は6名で、県外の音代漁業(株)が1名、山田水産(株)が5名となっています。

海上関係進学者として、沖縄水産高校の漁業科に2名進学しております。

以上です。

儀部部会長代理

何か質問等ございますか。

江川委員

卒業者進路状況の確認ですが、上の沖縄水産高校本科進学者26名で、海上関係がゼロになっているんですけど、これは裏面を見たら16名ぐらいが進学しているようなので、記載間違いかと思うのです。確認してもらえますか。

事務局(宮良)

こちらの表は水産高校のデータで備考の詳細までは確認していませんでした。

大崎委員

この数字については、計算のし直しはされてますか。

事務局(宮良)

表の縦横については一通り計算しています。

大崎委員

表と裏の整合性がとれていないようですが。沖水の本科の卒業生が12名となっていますが、こちらの表の数字で沖水の本科が11名になっています。

事務局(宮良)

就職者のうち1人が、「自営業」になっています。

大崎委員

この1人が海上就職で裏についているわけですね。

事務局(宮良)

この自営業の1人を除くと、11名が海上関係に就職したことになるわけです。

大崎委員

もう1点、専攻科の無線通信のところで、3月31日現在においては未定が3名いますが、この方たちについては、その後の追跡調査等を行なっていますか。

事務局(宮良)

そのあとの追跡というのは、現時点ではやっておりません。

大崎委員

免状を取得して卒業して、就職が未定のままなのか、今後は無線通信関係の仕事に就くのか、というのは気になるので、できれば追跡し、未定を解消していく方向が好ましいと思います。今後、同様の報告があれば、その後の就職状況等を沖水に問い合わせ把握することができれば、データが有効になるので、よろしくお願ひします。以上です。

事務局(宮良)

承知しました。

儀部部会長代理

ほかにございますか。他に質問がないようなので、議題3の意見交換に移りたいと思います。何かございますか。

大崎委員

船員新聞のほうをお持ちしました。これは、協約改定交渉の妥結内容、交渉風景等の写真が載っていますので、ぜひ参考にしていただきたいということで、今日お持ちしました。

委員の方にも目を通してもらい、こんな形でやっているということで、御披露させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

春田委員

私は、大学で労働法を教えていますが、学生は立派な団体交渉のイメージがわからないようです。この写真は、今でも労働組合が機能しているというイメージが伝わり、理路整然として、或いはシステムとして労働組合が立派な団体交渉ができるということを見せてくれると思い

ます。

この写真の右側が労働者側で、左側が使用者側ですね。こういうときの司会は、労働組合の委員長が司会をするのでしょうか。

梅田委員

幹事ですね。交渉委員長が委員長代行で、部長さんが幹事の役目をやり、要求の趣旨説明等をやります。

春田委員

良くわかりました。ありがとうございます。

儀部部会長代理

ほかに何かございますか。最後に事務局からの連絡をお願いします。

事務局(宮良)

平成25年2月22日の船員部会において、大崎委員より船員雇用促進対策事業費補助金についての要望がありました。

要望の内容としましては、「新規船員資格取得促進助成金」と「船員計画雇用促進助成金」の併給を受けるためのハードルが高いということが1点。もう1点が、船員不足に対して危機感を持っているのであれば、船員不足の解消のために若者を雇用している内航海運事業者に対して、わかりやすい内容で助成金の支給をしていただきたい、という2点の要望がありました。

この件につきましては、私共の方から国土交通省海事局人材政策課へ連絡済みということを報告します。

事務局（徳田）

次回の会議は、5月24日（金）5F海技試験室で14時から開催しますので、よろしくお願いします。

儀部部会長代理

それでは本日の部会はこれで終了します。